

ガリバー自動車研究所レポート

軽・コンパクトカーへの乗り換え急増中 ～ ガソリン高による乗り換えの変化とは？ ～

原油高騰がガソリン価格やパンなど食料品の値上げを引き起こし、家計への影響を及ぼしている。ガソリン価格の高騰はカーライフにも直接影響し、ユーザーの自動車購入事情も近年変化している。

はたしてユーザーのクルマ選びはどのように変化しているのだろうか。

■調査概要

調査期間 2005年01月～2008年06月

調査対象 ガリバーで売却・購入された37,252件

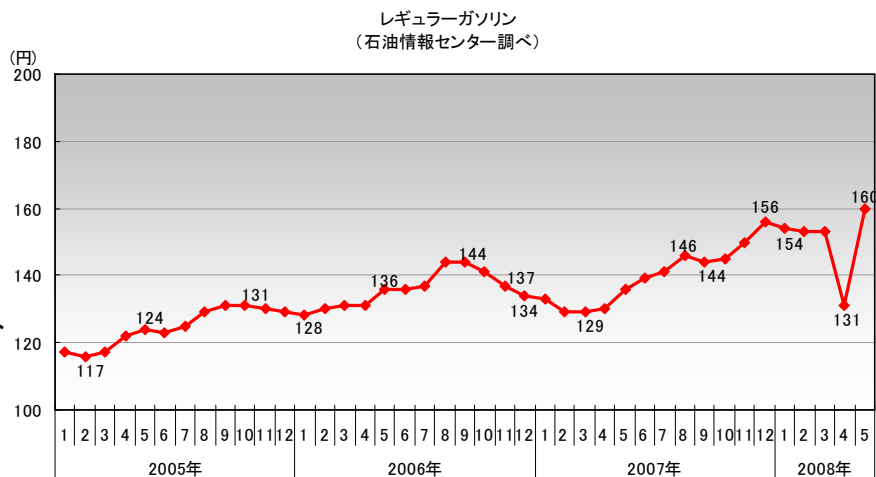
調査企画 ガリバー自動車研究所

■ガソリン価格高騰

右のグラフはこのところ新聞やテレビなどのメディアや、消費者の間で注目されるガソリン価格(石油情報センター調べ)である。

レギュラーガソリンの全国平均1リットル価格は05年に120円前後だったが、07年に150円を突破し、5月には160円。そしてついこの7月には180円台に突入した。

こうした背景においてユーザーの小型車への乗り換えが進み、今後更に加速する可能性が出てきた。



■レポートに関するお問い合わせ

株式会社ガリバーインターナショナル 広報部

〒100-6425 東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビルディング25F

TEL 03-5208-5501 FAX 03-5208-5511

■レポート総合企画/制作 ガリバー自動車研究所 所長 鈴木詳一

燃費を重視するユーザーが急増中！

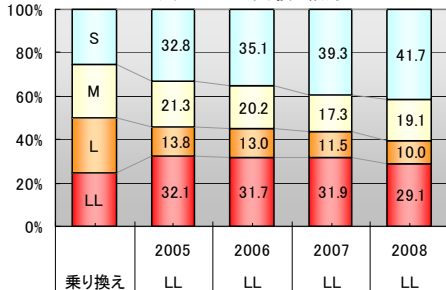
～ 乗り換えユーザーの4割以上が軽・コンパクトカーへ乗り換える ～

ユーザーの乗り換え傾向はガソリン価格の高騰にあわせ年々ダウンサイジングが増加し、LLクラス※でも4割がSクラス※への乗り換えを行っている。4月に行った調査でも燃費を重視するユーザーが増加していたことから、今後ますますハイブリッドカーを含むエコカーの売れ行きに注目したい。

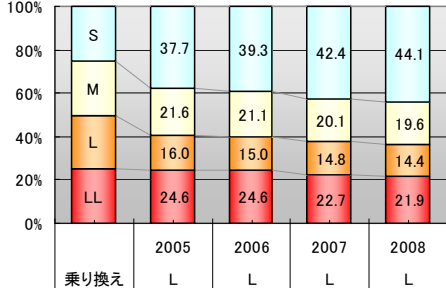
※ガリバーで売却・購入された車輛をボディサイズと排気量で分類
 LLクラス: 排気量3リッターを超えるクラス Lクラス: 排気量2リッターを超えるクラス
 Mクラス: 排気量2リッター前後のクラス Sクラス: 排気量1.5リッター以下のクラス(軽自動車含む)

■今後の自動車購入で重視するのは燃費・・・燃費の良いSクラスへの乗り換えが増加中

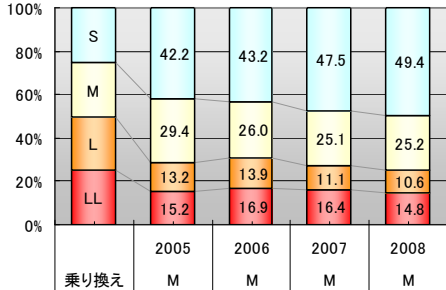
LLクラスからの乗り換え傾向



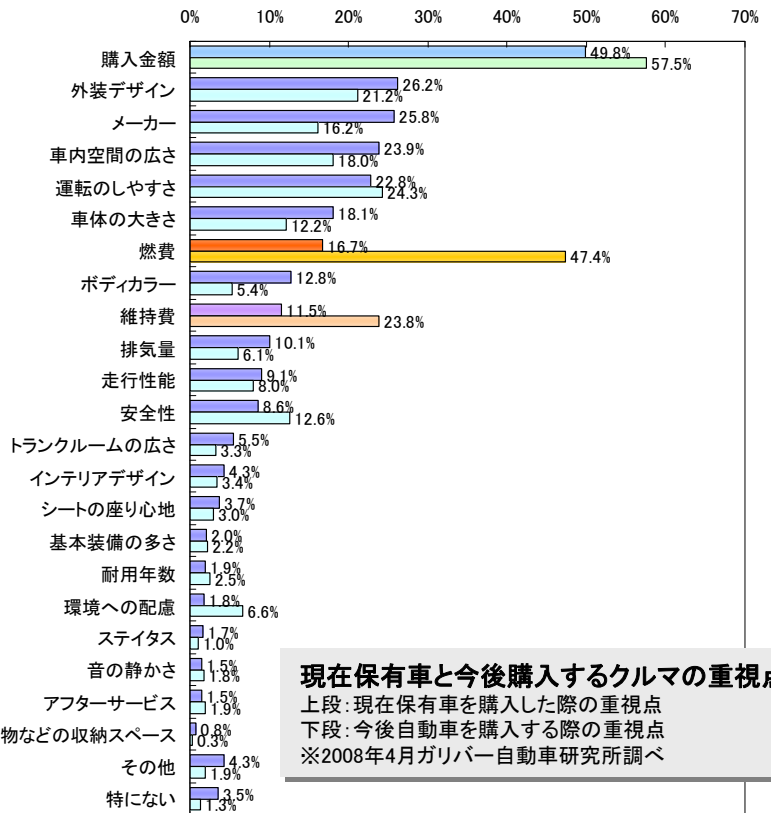
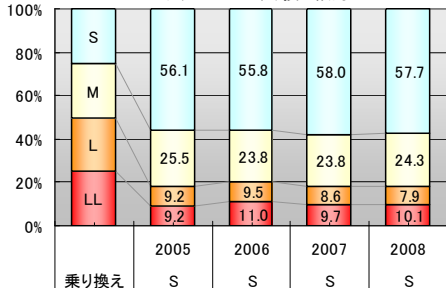
Lクラスからの乗り換え傾向



Mクラスからの乗り換え傾向



Sクラスからの乗り換え傾向



現在保有車と今後購入するクルマの重視点

上段: 現在保有車を購入した際の重視点
 下段: 今後自動車を購入する際の重視点
 ※2008年4月ガリバー自動車研究所調べ

高騰するガソリン価格と自動車乗り換え

ニューヨークの原油先物取引相場が1バレル140ドルを超え過去最高値を更新しており、日本のガソリン価格も7月には遂にレギュラーガソリン1リットル180円というところも出てきた。

特に今年は暫定税率が4月の1ヵ月だけ失効し25円ほどガソリン価格が安くなったこともあり、暫定税率が復活した5月以降は割高感が否めない。このような状況の中で当研究所が4月に実施した調査では、これまでの自動車購入と、これからの自動車購入では燃費を重視するユーザーが増加するなど大きな違いがあることがわかった。

左のグラフはクルマを売却したユーザーがどのクラスに乗り換えたかを時系列で比較したもののだが、Mクラス以上からSクラスへ乗り換えをしたユーザーが年々増加していることがわかる。

今後リッター200円ということも予想されているため、今後もSクラスへの乗り換えが増えることが予想される。